

美馬市三島小学校で河川環境学習を開催しました。

三島小学校4年生の児童を対象に、明連川の水質調査や水生生物の調査等の河川学習を実施しました。

【実施概要】

日 時：平成23年6月28日(火) 9:35~11:00

場 所：明連川4号橋周辺

参加者：三島小学校 4年生 12名

徳島県西部総合県民局 美馬庁舎 3名

フジタ建設コンサルタント 5名

内 容：1 明連川の水質調査：COD・pH測定、透視度測定

2 明連川の水生生物の観察・指標生物による水質判定

※前日準備：ペットボトルのセルビン設置

感 想：明連川にこんなに色々な魚がいるとは思っていませんでした。

エビ・メダカ・ザリガニ・ヤゴそして知らなかった生き物がいるのがわかりました。

自分たちが使った水が川をきたなくしていることがわかりもっと川をきれいにして、透視度計の下のほうで見えるようにして、たくさんの魚にすんでほしいです。

【前日準備】

事前に作ったペットボトルのセルビンを設置しました。

全員が自分のセルビンを作り、練り餌とおもりの石を入れ、思い思いの場所に仕掛けました。



【活動状況】

○水質調査



パックテストで明連川の COD（化学的酸素要求量）と pH（水素イオン濃度）を測定し、身近な川の水質を知りました。測定結果は、COD 8・pH 7～7.5 でした。

事前に牛乳・水道水・池の水でパックテスト体験をしていたので積極的に活動できました。



透視度計による明連川と穴吹川の透視度の測定を行い、比較しました。

穴吹川は 60cm 程度に対し、明連川は 20～30cm 前後の結果となり、個人差もありますが、数値による把握ができました。

○水生生物の観察：水質調査を行った場所から 4 号橋上流側へ移動し、水生生物の採集をしました。前



日仕掛けておいたペットボトルのセルビンをドキドキしながら引き上げました。ギンブナ・カワムツなどを見つけ、大きな声で友達に知らせていました。



全員が積極的にタモ網を持って水生生物の採集に参加しました。



アメリカザリガニ・ヤゴ・ミナミヌマエビ・ミズレヌマエビなどがたくさん採集され、外来種のミシシッピーアカミミガメも網にかかりました。



資料を見て採集した水生生物を調べました。

指標生物も採集できたので、水生生物による水質判定表で確認しました。



指標生物のミズムシやシマイシビルが多く確認され、明連川の水質は指標Ⅲ(きたない水)であることが分かりました。川を大切に、汚さないためにも、自分たちに何ができるのかを学びました。また、採集した水生生物の一部を学校に持って帰り、大切に飼育することにしました。